

観光ネットワークの 構築に向けたシンポジウム

～北方領土隣接地域の訪問客拡大をめざして～

北方領土隣接地域は、海産物や乳製品といった「食」だけでなく、豊かな自然をいかしたアクティビティを満喫できるなど、観光のポテンシャルも高い地域です。

多くの観光客が訪れること
によって、地域経済の発展が
期待できます。

観光、農林水産業、経済界、行政、地域住民など多様な関係者のネットワーク・近隣市町とのネットワークの構築に向けて、一緒に考えてみませんか。

※北方領土隣接地域とは、北海道根室市、別海町、中標津町、標津町及び羅臼町の1市4町の区域。

平成30年

2月15日 木 **14:00-16:50**
(開場 13:30)

入場
無料

<場所> 北海道立北方四島交流センター ニ・ホ・ロ 2階 交流ホール
(北海道根室市穂香110-9)

主催者挨拶 14:00～14:05

基調講演 14:05～15:05

**「DESTINATION・イメージの形成とネットワーク構築
～北方領土隣接地域の広域観光戦略策定に向けて～」**

講師：石黒 侑介 氏 (北海道大学観光学高等研究センター 准教授)

パネルディスカッション 15:15～16:45

「多様な観光ネットワークの構築に向けて」

<コーディネーター>

石黒 侑介 氏

<パネリスト>

伊藤 泰通 氏 (有限会社伊藤畜産 代表取締役)

遠藤 修一 氏 (大地みらい信用金庫 理事長)

篠原 靖 氏 (跡見学園女子大学観光コミュニティ学部 准教授)

高野 賢一 氏 (一般社団法人信州いよいよま観光局飯山駅観光交流センター副所長
(兼) 営業企画課広報室 室長)

森 成人 氏 (一般社団法人気仙沼地域戦略 理事/気仙沼市復興アドバイザー/
株式会社リクルートライフスタイル じゃらんリサーチセンター 研究員)

※裏面の参加申込書にてお申込みください

主 催：国土交通省北海道局/北海道開発局

後 援：北海道/北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会/大地みらい信用金庫

プロフィール Profile

講師・コーディネーター Speaker/Coordinator



北海道大学観光学高等研究センター 准教授

石黒 侑介 氏 Yusuke ISHIGURO

観光政策や観光戦略が専門で、特に、インバウンド・ツーリズムやデスティネーション・マネジメントに深い知見。公益財団法人日本交通公社にて観光分野の中央官庁・地方自治体の調査事業・研究に従事し、北海道運輸局「広域観光周遊ルート二次交通体系分析調査事業」有識者会議委員、公益財団法人はまなす財団「地域の持続的発展を牽引する新たな観光協会のあり方に関する研究会」座長など公職も多数。

パネリスト Panelists



有限会社伊藤畜産 代表取締役

伊藤 泰通 氏 Yasumichi ITO

根室市で同世代の酪農家とともに「酪農家集団AB-MOBIT」を組織し、牧草地や森をコースに取り込んだフットパスを整備。牧場では「肉牛・日本短角種」を用いた料理やソフトクリームを提供するレストランや喫茶店の経営に加え酪農体験、家畜動物園、キャンプ場など多様なプログラムを展開。



大地みらい信用金庫 理事長

遠藤 修一 氏 Shuichi ENDO

2012年に産官学金組織である「KONSEN魅力創造ネットワーク」を設立し、地域資源の情報発信に取り組む。2017年より、「アドベンチャーツーリズム」を検討する勉強会を開催し、今後進むべき方向性や課題を議論するなど価値創造に向けた活動を展開。



跡見学園女子大学観光コミュニティ学部 准教授

篠原 靖 氏 Yasushi SHINOHARA

約30年に渡り、大手旅行会社で地域素材を活かした旅行商品を開発。大学では「観光地域活性化」の教鞭をとりつつ、全国各地でその土地にしかない観光資源の発掘・磨き上げや観光客の受入態勢の整備を支援。内閣府地域活性化伝道師、総務省地域力創造アドバイザー。



一般社団法人信州いいやま観光局飯山駅観光交流センター 副所長（兼）営業企画課広報室 室長

高野 賢一 氏 Kenichi TAKANO

平成30年1月まで、都市農山村交流を目指した宿泊型体験施設である「なべくら高原・森の家」において地元の自然や里山の文化を活用した体験プログラムを展開してきた。また、NPO法人信越トレイルクラブの事務局長として、2県9市町村の広域連携にわたる信越トレイルの整備・管理運営などにも取り組む。



一般社団法人気仙沼地域戦略 理事/気仙沼市復興アドバイザー/
株式会社リクルートライフスタイルじゃらんリサーチセンター 研究員

森 成人 氏 Naruhito MORI

1999年株式会社リクルート入社。2013年より経済同友会から気仙沼市へ出向し、被災地復興のため、観光振興、6次産業化など地域活性化に携わる。2017年に日本版DMO候補法人となる（一社）気仙沼地域戦略を設立し、地域資源の観光商品化、地域経営が継続するしくみづくりに取り組む。

参加申込方法

① F A Xにてお申込みの場合

下記「観光ネットワークの構築に向けたシンポジウム」参加申込書に必要な事項をご記入の上、次の番号に送信してください。

FAX番号：011-709-5225

② E-mailにてお申込みの場合

メール本文に、下記「シンポジウム参加申込書」の必要事項をご入力の上、件名を「シンポジウム申込」とし、次のメールアドレスに送信してください。

E-mail: ichizai@hkk.or.jp

お申込期限：平成30年2月7日（水）

お問合せ先：北海道開発局開発監理部開発計画課
遠藤、種市

TEL：011-709-2311

（内線5458、5414）

※いただいた個人情報につきましては、本シンポジウムの開催に伴う事務手続に限り使用いたします。

「観光ネットワークの構築に向けたシンポジウム」参加申込書

会社名及び部署名

傍聴者 役職・氏名（全員の役職・氏名を記載願います）

（代表者）

連絡先（代表者）